

平成30年度

福岡女子大学大学院人間環境科学研究科  
人間環境科学専攻  
【博士前期課程】  
案内

(付) 平成30年度福岡女子大学大学院人間環境科学研究科  
人間環境科学専攻【博士前期課程】  
《2月試験(2月17日(土)実施)》  
《春季試験(3月3日(土)実施)》  
学生募集要項(一般選抜・社会人選抜・外国人留学生選抜)

公立大学法人  
**福岡女子大学**

〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1丁目1番1号  
電話 (092) 661-2411(代表)  
URL <http://www.fwu.ac.jp/>

## 目 次

1	福岡女子大学の沿革	1
2	福岡女子大学大学院 人間環境科学研究科人間環境科学専攻【博士前期課程】の 特色とアドミッションポリシー	1
3	教育課程の編成	2
4	教育職員免許状	4
5	社会人の入学について	4
6	授業科目、担当者及び単位数	6
7	研究内容	8
8	交通案内	11

(付) ○ 平成30年度福岡女子大学大学院  
人間環境科学研究科人間環境科学専攻【博士前期課程】学生募集要項  
《2月試験・春季試験用》

- 入学願書
- 受験票
- 研究希望調書
- 受験許可書
- 在職期間証明書
- 入学者選拔出願資格認定申請書
- 入学考査料振込金証明書貼付用紙
- 入学考査料振込依頼書

## 1 福岡女子大学の沿革

福岡女子大学の前身は、大正 12 年(1923 年)にわが国最初の公立女子専門学校として設置された福岡県女子専門学校(文科、家政科)である。昭和 25 年(1950 年)の学制改革に応じて福岡女子大学となり、当初は学芸学部(国文学科、英文学科、生活科学科)のみの単科大学として発足したが、昭和 29 年(1954 年)に文学部(国文学科、英文学科)と家政学部(家政学科、家庭理学科)の 2 学部構成となった。平成 5 年(1993 年)に、大学院文学研究科修士課程(国文学専攻、英文学専攻)が開設され、平成 9 年(1997 年)にはさらに英文学専攻の博士後期課程が設置された。一方、家政学部は平成 7 年(1995 年)に人間環境学部(環境理学科、栄養健康科学科、生活環境学科)に改組された後、平成 12 年(2000 年)に、大学院人間環境学研究科修士課程(環境理学専攻、栄養健康科学専攻、生活環境学専攻)が設置された。

平成 18 年(2006 年)より公立大学法人福岡女子大学となってさらに大学改革が推進され、平成 23 年(2011 年)には新たに、国際化、多様化する社会で幅広く活躍できる女性リーダーの育成を基本理念とする 1 学部 3 学科体制の国際文理学部(国際教養学科、環境科学科、食・健康学科)が設置された。この学部理念のもとに、既設の人間環境学研究科を充実・発展させた新たな専門教育研究機関としての大学院人間環境科学研究科が平成 27 年(2015 年)4 月に開設された。

このように本学は開学以来 94 年の歴史と伝統をもち、その間に送り出した卒業生・大学院修了生は各方面で活躍し、広く社会に貢献している。

## 2 福岡女子大学人間環境科学研究科(博士前期課程)の特色とアドミッションポリシー

人間環境科学研究科人間環境科学専攻は、健康科学・生活科学・理学・工学・社会科学といった学問領域を統合化することによって、健康科学と環境科学及びその基盤である自然科学の観点から、「健康な生活を支える環境調和型社会づくり」を目指す「人間環境科学」の発展に寄与する。そのため、栄養健康科学領域、環境マネジメント領域、環境自然科学領域を設置し、高度な研究能力と知識を持ち、創造性に富む人材の育成を教育理念としている。

研究科・専攻の学生には、教員と学生の距離が近い少人数教育の利点を生かして実験・実習・フィールドワークを自主的に実施し、大学院での学びを積極的に社会に還元することが求められる。したがって、学生には下記のような能力・意欲を期待する。

- (1) 健康・環境分野に関心が深く、自らを高める向上心に満ち、かつ知的好奇心や創造性に富んでいること
- (2) 研究・実験に対し、積極的かつ主体的に取り組む姿勢を持っていること
- (3) 化学や生物学を中心とする一般的な自然科学の知識を有していること
- (4) 健康環境・自然環境・生活環境に関わる現実的諸問題に関心が高いこと
- (5) 研究成果を健康な生活を支える環境調和型社会の創生のために社会に提案・還元する意欲を有すること

領域ごとのアドミッション・ポリシーは以下のとおりである。

### ●環境自然科学領域

「人間環境科学」が対象とする人(ヒト)をめぐる環境に関連した複雑で多岐にわたる現象を、自然科学を基に学際融合的に教育研究し、次世代を担う人材を養成することを目的としている。分子・細胞・個体や

それらを結びつけるエネルギーや物質循環といった自然環境について、物質科学と生命科学の角度から実験・理論の研究及び教育を行う。本領域では、自然科学分野に関心が深く、自らを高める向上心に満ち、かつ知的な好奇心や創造性に富んだ人材を期待する。

#### ●栄養健康科学領域

栄養と健康に関する基礎研究から応用開発や臨床対応にいたる領域を対象とし、健全な食生活を構築するとともに、生活習慣病の成因や予防、食の安全性などの問題を解析、解決することを目的としている。そのため食と栄養に関する高度専門職業人として、臨床栄養師、食品企業の研究者や開発者、教育機関における教育者・研究者を育成する。学生には実験・調査等の研究活動に対し、積極的かつ主体的に取り組む姿勢を持つことを求める。すなわち、食と健康との関連性やその探究について特に高い関心を持ち、諸問題の成因や解決に向けた研究への取り組みや、その成果を社会に提案・還元する意欲を有する学生を求める。

#### ●環境マネジメント領域

生活するヒトの生理、心理、行動の特性を明らかにし、ヒトと環境の相互作用について教育研究を行う。具体的には、都市・住居デザインの提案・設計、人間の心理・生理機能や行動様式の解析ならびにそれに基づく生活空間の設計、ユニバーサルデザインに基づいた都市・空間の評価と設計、環境変動に伴うヒトの行動様式などへの影響に関するデータ収集・分析、などを行う。各研究の主眼は、人間と環境の境界領域の本質を人間及び環境の視点から科学的・工学的に捉えた上で、我々の生活を向上させるための境界領域の改良方策を具体的に提案するところにある。従って、基礎となる自然科学系諸科目に習熟していること、生活環境と人間に関わる現実的諸問題に関心が高いこと、研究成果を具体的なデザインとして社会に提案・還元する意欲を有する学生を求める。

### 3 教育課程の編成

人間環境科学研究科の教育課程では、国際文理学部での全学共通科目（教養科目）と専門科目を有機的に組み上げた少人数教育によるカリキュラムの基礎の上に、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻領域における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的としている。この目的を達成するために、教育課程の編成において、専門科目の他に、基本科目と研究科共通科目の区分を設ける（授業科目の詳細については、P5～P6参照）。

A 基本科目（必修）： 研究科名を冠した特論・特別演習（人間環境科学特論・人間環境科学特別演習）で構成される。3領域に亘って「健康な生活を支える環境調和型社会づくり」のために必要な種々の基盤となる専門知識・方法論の必要性を認識し、かつ、それらを統合することによって、環境や社会の問題を解決に導くことができる可能性を理解する。人間環境科学特論は1年次前期、人間環境科学特別演習は1年次後期に開講する。

B 研究科共通科目（必修・選択）： 必修科目の特別研究のほかに、国内外の社会での実践で貢献できる人材育成を目指して、大学・公的機関・民間企業等での体験的学習を実施するキャリア科目（「国際研究活動」、「国際インターンシップ」、「専門職特別研修」）を設定している。これまで国際文理学部は国際的感性やコミュニケーション能力を育成するため、国外での体験学習や交流協定校との交換留学などを実施しているが、「国際研究活動」等の授業を通して、研究科レベルでも一層の国際的感性やコミュニケーション能力を身につける。

C 専門科目（選択）：全て選択科目とし、人間環境科学研究科の教育課程の目的を踏まえて、以下のよう  
に各領域の教育課程を編成している。

●環境自然科学領域

人間社会と相互に作用して生じる様々な自然環境における現象を把握し、自然及び社会の環境問題の評  
価、およびその評価のために必要な物質科学のおよび生命科学的な現象解明やその解決に向けた技術的な  
対策を考えることのできる人材育成を目的とした教育研究を行う。具体的な教育研究内容は、下記のと  
うである。

- (1) 自然環境における環境問題を調査して評価する知識・技術の習得
- (2) 環境中の化学物質の特性を理解し、環境問題を引き起こしている原因を究明し、その問題解決に必要な知識・技術の習得
- (3) 人の活動等に起因する環境変化が生命体の構造・機能や生態系にもたらす影響について分析して評価する知識・技術の習得

●栄養健康科学領域

生活習慣病を予防・管理し健康な暮らしの実現を支援する食環境の整備を目指し、ライフスタイルの多  
様化に伴う様々な「食」と「健康」の諸問題を解決し、人の「健康」を維持する社会的環境を構築するた  
めに必須な基礎的、実践的知識および技術の習得を目的とした教育研究を行う。具体的な教育研究内容は、  
下記のとおりである。

- (1) 栄養素の摂取不足あるいは過剰摂取に起因する様々な疾病、生活習慣病のリスク増大といった「食」  
に起因する「健康」の諸問題を栄養学および健康科学面から取り扱うとともに、その問題解決に必  
要な知識・技術の習得
- (2) 人の「健康」を維持するためには、食の安全・安心の確保が必須であり、現代の食料に関する問題を  
評価し、その解決に必要な知識・技術の習得
- (3) 自然あるいは社会環境の変化が人の健康に及ぼす影響を評価し、その対策に必要な知識・技術の習得
- (4) 食の生産環境に影響を及ぼす「環境汚染」の現状や「国外の食料環境」に関する諸問題を、国際的な  
観点から把握し、その解決に必要な知識・技術の習得
- (5) 管理栄養士免許保持者を対象とした高度専門職業人養成のための教育（臨床栄養師研修等）

●環境マネジメント領域

持続可能な生活・社会環境の創生を目指し、人間の生活する社会環境の諸問題を扱うとともに、生活す  
る人間と社会環境との相互作用（関係）を明らかにし、かつ、その社会環境が自然環境との調和を図りな  
がら人間にとって合理的で快適なものとなるような生活・社会設計ができる人材育成を目的とした教育研  
究を行う。具体的な教育研究内容は、下記のとおりである。

- (1) 人の生活様式と地域や国内外の社会環境・自然環境との相互作用について把握し、人の生活環境にお  
ける諸問題を評価し、その解決に必要な知識・技術の習得
- (2) 地域あるいは都市の社会環境における諸問題を把握し、環境調和型社会を目指した（空間・エネルギ  
ーなどに関連した）社会設計に必要な知識・技術の習得
- (3) 統計学、政策学及び経済学の視点から人間環境の問題を把握・評価し、環境調和型社会を目指した社  
会政策や環境政策を提案するために必要な知識・技術の習得

修了要件は、本課程に2年以上在学し、34単位(基本科目4単位、専門科目と研究科共通科目(特別研究を除く)から20単位以上、特別研究10単位)以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、特に優れた業績をあげた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。

#### 4 教育職員免許状

環境自然科学領域または栄養健康科学領域を修了し、所定の科目の単位を修得した者は、次の教育職員免許状を取得することができる。

領 域 名	免 許 状 の 種 類	教科
環境自然科学	中学校教諭専修免許状	理科
	高等学校教諭専修免許状	
栄養健康科学	栄養教諭専修免許状	

#### 5 社会人の入学について

##### (1) 社会人の受け入れ

生涯学習の一環として、大学を卒業し企業、教育機関、官公庁、各種施設等で活躍している社会人の間で、さらに高度な学識や技術を修得するために大学院へ進学しようとする機運が高まっている。本研究科では、これに積極的に応えるために、下記の特例措置をはじめ種々の履修方法を準備している。

人間環境科学研究科では、このような向学の志を抱く社会人を受け入れるために、学力試験の専門科目の一部を免除し、主として英語と面接による選抜を行う。出願に際しては、社会人のその専門性に鑑み、入学を希望する教育研究分野について予め協議されることを推奨する。

##### (2) 社会人のための特例措置について

教育方法の特例措置とは、現職教員、公務員、一般企業の社員、団体・施設等の職員の社会人が、昼間に勤務しながら夜間または土曜日(授業科目によっては、社会人の夏期及び冬期休業期間中に集中で開講する場合がある。)に通学し修了することができる措置のことである。ただし、この特例の適用を受ける場合においても、原則として1年次においては昼間開講の授業を履修しなければならない。

この教育方法の特例を適用し夜間に授業を実施する場合は、月曜日から金曜日の18時から21時10分までとする。また、授業科目によっては、土曜日及び夏期・冬期休業期間中に集中で開講する場合がある。

## 6 授業科目、担当者及び単位数

人間環境科学研究科 人間環境科学専攻 博士前期課程

分野	授業科目	担当者	単位数	
専 門 科 目	環 境 自 然 科 学 領 域	無機化学特論	馬 昌珍	2
		物理化学特論	池田宜弘	2
		環境物理学特論	黒木昌一	2
		分子分光化学特論	山田 淳 (非常勤)	2
		環境自然科学特別演習 I	池田・黒木・馬	2
		環境有機化学特論	佐藤一紀 (非常勤)	2
		環境反応化学特論	宇都宮 聡 (非常勤)	2
		環境生物化学特論	井上浩義 (非常勤)	2
		生活材料加工学特論	藤岡祐一	2
		生活材料化学特論	吉村利夫	2
		環境自然科学特別演習 II	藤岡 (祐)・吉村	2
		細胞機能学特論	(未定)	2
		環境生理学特論	松尾亮太	2
		発生生物学特論	弓削昌弘	2
		環境自然科学特別演習 III	弓削・松尾	2
		進化遺伝学特論	猪股伸幸	2
		環境生物学特論	瀧下清貴	2
		環境自然科学特別演習 IV	瀧下・猪股	2
		生体情報学特論	小早川義尚 (非常勤)	2
		環境自然科学特別講義 I (物質系)	草壁克己 (非常勤)	2
	環境自然科学特別講義 II (生命系)	田代康介 (非常勤)	2	
栄 養 健 康 科 学 領 域		栄養学特論	中村 強	2
		栄養学特別演習	中村 強	2
		食品学特論	石川洋哉	2
		食品学特別演習	石川洋哉	2
		調理科学特論	舟木淳子	2
		調理科学特別演習	舟木淳子	2
		生物化学特論	高橋 徹	2
		生物化学特別演習	高橋 徹	2
		栄養生理学特論	佐藤匡央 (非常勤)	2
		公衆栄養学特論	南里明子	2
		公衆栄養学特別演習	南里明子	2
		人体生理学特論	濱田 俊	2
		人体生理学特別演習	濱田 俊	2
		食品衛生学特論	小林弘司	2

栄 養 健 康 科 学 領 域	食品衛生学特別演習	小林弘司	2
	臨床栄養学特論	吉住秀之（非常勤）	2
	臨床栄養学特別演習	吉住秀之（非常勤）	2
	公衆衛生学特論	太田雅規	2
	公衆衛生学特別演習	太田雅規	2
	運動生理学特論	（未定）	2
	国際食流通学特論	新開章司	2
	国際食流通学特別演習	新開章司	2
	臨床栄養師特別研修Ⅰ	片桐義範	2
	臨床栄養師特別研修Ⅱ	片桐義範	2
臨床栄養師特別研修Ⅲ	片桐義範	2	
環 境 マ ネ ジ メ ン ト 領 域	生活環境衛生学特論	小崎智照	2
	住環境学特論	森田 健	2
	環境デザイン学特論	庄山茂子	2
	環境マネジメント特別演習Ⅰ	森田・小崎・豊貞	2
	生活環境管理学特論	岩崎慎平	2
	環境マネジメント特別演習Ⅱ	庄山・岩崎	2
	環境政策学特論	辻 信一	2
	環境経済学特論	（未定）	2
	環境マネジメント特別演習Ⅲ	辻 信一	2
	環境統計学特論	藤野友和	2
	環境情報学特論	藤岡 薫	2
	環境マネジメント特別演習Ⅳ	藤野・藤岡	2
	人間工学特論	豊貞佳奈子	2
	生活環境生理学特論	前田享史（非常勤）	2
	環境エネルギー学特論	谷口育雄（非常勤）	2
	環境マネジメント科学特別講義Ⅰ（環境生活系）	松下美紀（非常勤）	2
環境マネジメント科学特別講義Ⅱ（環境政策系）	辻・藤野・藤岡	2	
基本 科目	人間環境科学特論	研究科教員	2
	人間環境科学特別演習	研究科教員	2
研 究 科 共 通 科 目	国際研究活動	新開・豊貞・馬・岩崎	2
	国際インターンシップ	豊貞・新開・馬・岩崎	2
	専門職特別研修	中村・吉村	2
	特別研究（10単位）	修士論文の指導教員	10



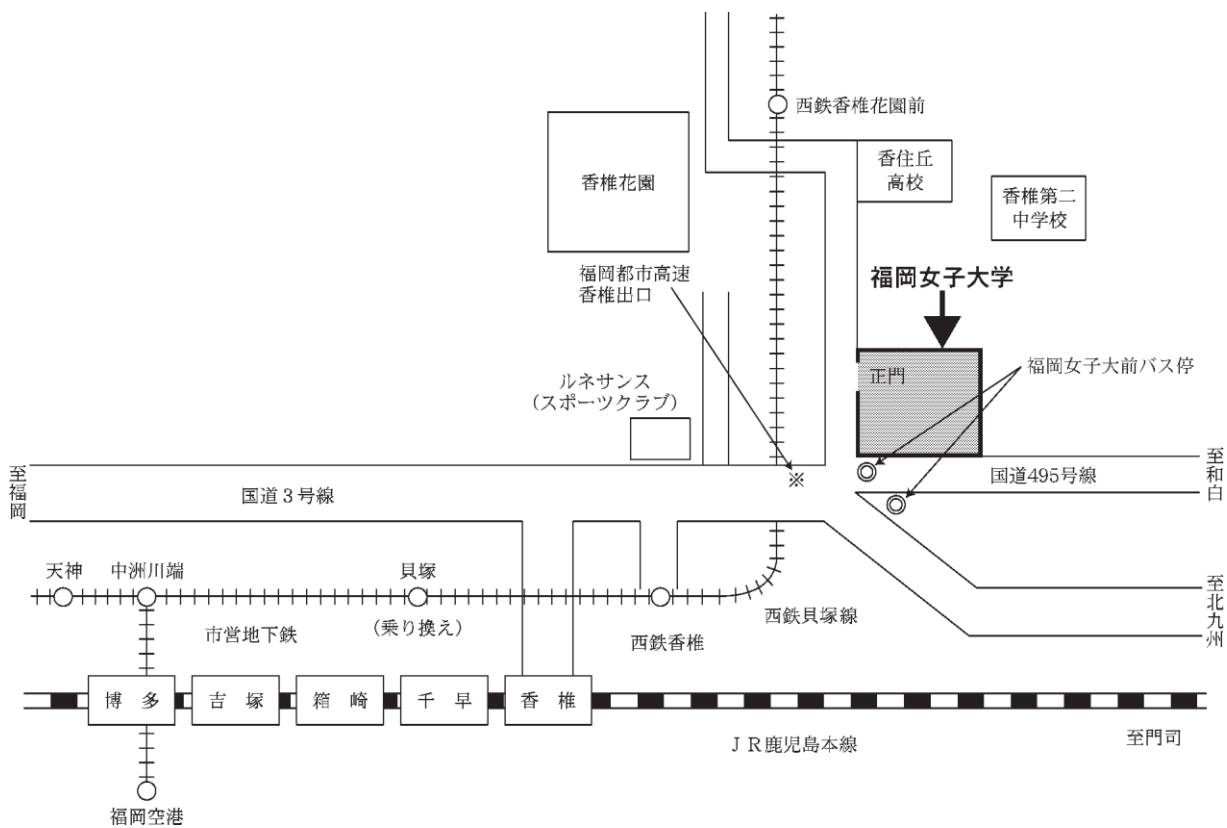
## 7 研究内容

研究室		担当教員	主な研究内容
環境自然 科学領域	物理化学	池田宜弘	○界面活性剤の水／空気および水／油界面吸着の熱力学的研究 ○水溶液中における界面活性剤のミセル形成に関する研究 ○吸着膜やミセル中での2種の界面活性剤の混和性に関する研究
	環境エネルギー学	藤岡祐一	○森林バイオマスの有効利用技術の研究 ○CO <sub>2</sub> を低エネルギーで分離する吸収液に関する研究 ○石炭のガス化および脱硫に関する研究 ○地球温暖化問題の対策技術の研究
	高分子材料学	吉村利夫	○環境調和型高分子材料に関する研究 ○高吸収性高分子材料に関する研究 ○アオサの有効利用に関する研究 ○セルロースの誘導体化に関する研究
	物理学	黒木昌一	○非線形非平衡系の統計力学的研究
	大気環境学	馬 昌珍	○生活環境における大気汚染に関する研究 ○地域及び地球規模の大気環境問題に関する研究 ○大気環境試料の超極微量元素分析に関する研究
	環境生物学	瀧下清貴	○生物（主に真核微生物）の多様性・生態・進化に関する研究
	進化遺伝学	猪股伸幸	○適応進化の遺伝基盤に関する研究 ○生物の系統地理学的研究
	神経生物学	松尾亮太	○神経系の高次機能と可塑性に関する研究 ○神経系の頑健性に関する研究
	発生生物学	弓削昌弘	○脊椎動物の初期発生の研究
栄養健康 科学領域	栄養学	中村 強	○各種病態下における食事栄養組成、食品成分による発症抑制・治療効果の探索研究 ○各種経腸栄養、経口栄養の有効性の探索研究
	生体制御学	濱田 俊	○脳に作用する生体分子（ビタミン、神経ペプチドなど）の研究 ○味覚器の形成に関する研究
	公衆衛生学	太田雅規	○運動を中心とした健康増進活動の効果についての実践的研究 ○運動と酸化ストレスについての研究 ○労働適応能力についての研究

	調理科学	舟木淳子	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食品のテクスチャー、味の改良についての研究</li> <li>○プロテアーゼを利用した食品の新規調理性開発</li> <li>○ヒトの味覚に影響する物質についての研究（甘味誘導物質等）</li> </ul>
	臨床栄養学	片桐義範	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医療施設における栄養管理部門の運営に関する研究</li> <li>○入院患者の栄養アセスメントに関する研究</li> <li>○疾病と食事療法に関する研究</li> <li>○栄養サポートチーム（NST）についての研究</li> <li>○医療分野における管理栄養士の人材育成についての研究</li> </ul>
	食料経済学	新開章司	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食料の生産・流通・消費（フードシステム）に関する研究</li> <li>○食料のマーケティングに関する研究</li> <li>○農業経営に関する研究</li> <li>○地域振興や地域ブランドに関する研究</li> </ul>
	食品学	石川洋哉	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「おいしさ」と「健康維持」に関わる食品機能の評価・解析</li> <li>○天然物・食品成分の抗酸化活性評価に関する研究</li> <li>○食品の「香り」評価に関する研究</li> <li>○新規低温抽出技術を活用した新たな食品の開発</li> </ul>
	栄養生理学	高橋 徹	<ul style="list-style-type: none"> <li>○糖吸収機序解明に関する研究</li> <li>○水吸収機序解明に関する研究</li> <li>○咀嚼に関する研究</li> </ul>
	食品安全学	小林弘司	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食中毒菌の損傷や回復に関する研究</li> <li>○ノロウイルスの検出法の開発に関する研究</li> <li>○安全生試験に関する研究</li> </ul>
	公衆栄養学	南里明子	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活習慣病（糖尿病や抑うつ）予防に関連する食事要因についての研究</li> </ul>
環境マネジメント領域	住環境学	森田 健	<ul style="list-style-type: none"> <li>○住環境評価技術に関する研究</li> <li>○健康で快適な照明環境に関する研究</li> <li>○自然光と人工光の生体影響に関する研究</li> </ul>
	環境デザイン学	庄山茂子	<ul style="list-style-type: none"> <li>○都市空間における景観色彩に関する研究</li> <li>○都市空間における屋外広告物の印象評価</li> <li>○異なるデザインの医療用・介護用ユニフォームの印象評価</li> </ul>

エコライフスタイル学	豊貞佳奈子	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活行為のモデル化に関する研究</li> <li>○生活行為由来環境負荷量の定量化研究</li> <li>○快適性に着目した住宅設備設計に関する研究</li> </ul>
環境政策学	辻 信一	<ul style="list-style-type: none"> <li>○わが国の環境法の成立と発展に関する研究</li> <li>○わが国の公害対策および環境政策に関する研究</li> <li>○日本、米国、欧州における科学物質管理法の研究</li> </ul>
環境生活学	岩崎慎平	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境情報に基づく人々の態度・行動変容の評価</li> <li>○環境資源管理に係る歴史的変遷の解明と当事者の対処行動の分析</li> <li>○環境変化に伴う地域コミュニティ問題の評価</li> </ul>
環境情報学	藤野友和	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 環境データ、大規模データの統計解析手法および可視化に関する研究</li> <li>○ 政策立案、政策評価のための公的統計データの有効活用に関する研究</li> </ul>
環境数理学	藤岡 薫	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然環境・社会現象に関する数理モデルの研究</li> </ul>
環境衛生・計画学	小崎智照	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康的な環境条件に関する研究</li> <li>○環境因子による生体作用に関する研究</li> <li>○人間の生体心理特性の性差に関する研究</li> </ul>

## 8 交通案内図



(付) 平成 30 年度福岡女子大学大学院  
人間環境科学研究科人間環境科学専攻【博士前期課程】

学生募集要項

《2 月試験・春季試験用》

(一般選抜・社会人選抜・外国人留学生選抜)

1 募集人員

専攻	募集人員 (夏季試験・2 月試験・春季試験合計)
	一般選抜・社会人選抜・外国人留学生選抜
人間環境科学	合計 12 名

2 出願資格

(1) 一般選抜入試

次の各号の一に該当する女子が出願できる。

- ① 大学を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者 (学校教育法第102条第1項)
- ② 大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び平成30年3月までに授与される見込みの者 (学校教育法施行規則第155条第1項第1号)
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者 (学校教育法施行規則第155条第1項第2号)
- ④ 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者 (学校教育法施行規則第155条第1項第3号)
- ⑤ 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程 (文部科学大臣指定外国大学日本校) を修了した者 (学校教育法施行規則第155条第1項第4号)
- ⑥ 指定された専修学校の専門課程を修了した者 (学校教育法施行規則第155条第1項第5号)
- ⑦ 旧制学校等を修了した者 (昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号、昭和30年文部省告示第39号第1号)
- ⑧ 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者 (昭和28年文部省告示第5号第5号～第12号、昭和30年文部省告示第39号第2号)
- ⑨ 本研究科において個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成30年4月1日までに22歳に達するもの (学校教育法施行規則第155条第1項第8号)

※上記⑨の出願資格で出願する者は事前審査を行うので、15ページの「出願資格の事前審査について」を参照すること。

(2) 社会人選抜入試

入学時において、社会人として2年以上の経験を有する女子で、上記(1)の①～⑨のいずれかの出願資格を有するもの。

### (3)外国人留学生選抜入試

日本国外において12年の課程を修了して上記出願資格の①～⑨のいずれかに該当する日本国籍を有しない女子で、かつ、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験の「日本語」を受験したか、またはそれに準ずる証明書を提出できるもの。国費外国人留学生及び外国政府派遣留学生は、日本語能力に関する書類の提出を免除する。

(4)上記(2)、(3)に該当する者であっても、一般選抜に出願することは可能だが、一般選抜、社会人選抜、外国人留学生選抜の併願はできない。

### 3 試験日

2月試験                      平成30年2月17日(土)  
春季試験                      平成30年3月3日(土)

### 4 試験場

福岡女子大学

### 5 試験日程・試験科目

人 間 環 境 科 学 専 攻			
試験区分	専門科目 (各領域の専門科目の 内容は下記*参照)	英 語 (辞書持込可・ただし 電子辞書は不可)	面 接
一般選抜	10:00～11:30	13:00～14:30	15:00～
社会人選抜			
外国人留学生選抜			

＊ 専門科目の選択

次の科目の中から出願時に一般選抜の場合は2科目、社会人選抜・外国人留学生選抜の場合は1科目をそれぞれ選択すること。ただし、そのうちの1科目は志望研究室に対応する科目を以下の表を参考に選択すること。

	研究室	担当教員	受験科目
環境自然科学 領域	物理化学	池田宜弘	物理化学
	環境エネルギー学	藤岡祐一	無機化学
	高分子材料学	吉村利夫	高分子化学
	物理学	黒木昌一	物理学
	大気環境学	馬 昌珍	環境分析化学
	環境生物学	瀧下清貴	生態学
	進化遺伝学	猪股伸幸	遺伝学
	神経生物学	松尾亮太	神経科学
	発生生物学	弓削昌弘	発生生物学
栄養健康科学 領域	栄養学	中村 強	栄養学
	生体制御学	濱田 俊	解剖生理学
	公衆衛生学	太田雅規	公衆衛生学
	調理科学	舟木淳子	調理科学
	食品学	石川洋哉	食品学
	栄養生理学	高橋 徹	生物化学
	食料経済学	新開章司	食料経済学
	食品安全学	小林弘司	食品衛生学
	公衆栄養学	南里明子	公衆栄養学
環境マネジメ ント領域	住環境学	森田 健	住環境学
	環境デザイン学	庄山茂子	環境デザイン学
	環境政策学	辻 信一	環境政策学
	環境生活学	岩崎慎平	環境生活学
	エコライフスタイル学	豊貞佳奈子	人間工学
	環境情報学	藤野友和	統計学
	環境数理学	藤岡 薫	情報数学
	環境衛生・計画学	小崎智照	環境衛生・計画学

6 出願期間

2月試験・春季試験 平成30年 1月15日(月)～1月19日(金) 17時まで必着

※2月試験と春季試験の併願可。ただし、2月試験に合格した場合でも春季試験の出願を取り下げることが出来ない。(受験料は返還しない。)

併願する場合には、それぞれ試験についてすべての出願手続き書類を提出すること。

## 7 出願手続き

入学志願者は、次の書類を「6 出願期間」の期間内に本学学務部 教務企画班に提出すること。

出願書類を郵送するときは、必ず書留速達とし、封筒表面に「大学院人間環境科学研究科人間環境科学専攻博士前期課程入学願書」と朱書きすること。

なお、提出された出願書類及び納入金は原則として返還しない。また、出願書類に不備があるものは、受理しない。(該当書類が英語以外の外国語表記の場合、必ず和訳文または英訳文を添付すること。)

### (1) 入学願書及び受験票

本募集案内にある「福岡女子大学大学院人間環境科学研究科入学願書（博士前期課程）」及び「福岡女子大学大学院人間環境科学研究科入試受験票（博士前期課程）」

### (2) 研究希望調書

本募集案内にある「研究希望調書」

なお、研究希望調書の作成にあたっては志願者の希望する本学の研究室の担当教員と事前に協議すること。協議をするにあたっては、まず福岡女子大学代表電話（092-661-2411）に電話をし、本募集要項の13ページ「\*専門科目の選択」一覧表に掲載している研究室担当教員を告げること。ただし、電話を受け付けるのは、土、日、祝日以外の9時から16時までとする。

### (3) 成績証明書

出身大学の学籍原簿の写し又はそれに相当する単位取得を証明するもの。(要厳封)

### (4) 最終学校の卒業（修了）証明書もしくは見込証明書

ただし、2 出願資格（1）の②に該当する者のうち、すでに学位を授与された者は学位記の写し、授与見込みの者は、当該者が在籍する短期大学等専攻科の終了見込証明書及び学位を申請する予定である旨の証明書を提出すること。

### (5) 入学考査料は30,000円。納入方法は、銀行窓口での振込「電信扱」に限る。納入後は、原則として返還しない。本募集案内最終ページの「入学考査料振込依頼書」を切り離し、太枠で囲まれている記入欄に必要事項をすべて黒ボールペンで正確・明瞭に記入し、A・B・C票を切り離さず銀行へ持参すること。ただし、振込手数料は志願者負担。

振込の後、銀行窓口で返還されたB・C票のうち、C票(「福岡女子大学(大学院)」入学考査料振込金受付証明書)を、「入学考査料振込金受付証明書貼付用紙」に貼り付けること。

### (6) 写真（2枚）

たて4cm×よこ3cm、正面上半身、無帽、出願期間以前3ヶ月以内に撮影したもの2枚を、それぞれ入学願書、受験票に貼付すること。

### (7) 受験票返信用封筒

返信用封筒(長形3号120mm×235mm)に宛先、郵便番号を明記し、82円切手を貼付すること。

### (8) 受験許可書（社会人選抜出願者のうち現職のまま入学しようとするもの）

本募集案内にある「受験許可書」。会社及び官公庁・教育機関等に勤務している者で現職のまま入学しようとする者は、本学大学院の受験についての所属長の許可書を提出すること。

### (9) 在職期間証明書（社会人選抜出願者のみ）

本募集案内にある「在職期間証明書」。



○障害がある入学志願者の事前相談

障害がある入学志願者で、受験上および就学上配慮を必要とする者は、相談に応じるので、事前に学務部教務企画班(092-661-2417)に相談すること。

○出願資格の事前審査について

11 ページ「2 出願資格(1)-⑨」により出願しようとする者についての「修士の学位を有すると同等以上の学力」の認定は、次により行う。なお、必要がある場合は面接を行う。

①提出書類

書類等	摘要
ア 博士前期課程 入学者選拔出願資格認定申請書	本募集案内に添付されている「入学者選拔出願資格認定申請書」
イ 「7 出願手続」に定める書類 (但し入学考査料を除く)	本募集要項の「7 出願手続」に定める書類 (入学考査料は提出しないこと)

ア及びイは、一括して提出すること。なお、郵送する場合は必ず書留速達とし、封筒表面に「出願書類及び出願資格認定申請書在中」と朱書きすること。

②提出期間

2月試験・春季試験 平成29年12月11日(月)～14日(木)17時まで必着

③認定の結果

認定の結果は次の期日までに本人に郵便または電話で通知する。

2月試験・春季試験 平成29年12月21日(木)

※認定された者は、13 ページ「6 出願期間」の期間内に「7 出願手続 (6) 入学考査料」に記載する方法により入学考査料を納入すること。

納入後はC票(「福岡女子大学(大学院)入学考査料振込金受付証明書」を、入学考査料振込金受付証明書貼付用紙に貼り付け、「6 出願期間」の期間内に本学学務部 教務企画班に提出すること。

8 合格発表

合格者の発表は、次の通りである。

2月試験 平成30年2月22日(木)

春季試験 平成30年3月8日(木)

合格者には本人あてに郵送で通知する。なお、本学のホームページにおいても合格者の受験番号を掲載する。

ただし、公式の合格発表については、必ず本学掲示板又は合格通知書で確認すること。電話による可否の問い合わせは一切受け付けない。

## 9 入学手続き

### (1) 入学手続き期間

**2月試験合格者・春季試験合格者** 平成30年3月9日(金)～3月15日(木)17時まで

(郵送の場合は、必ず書留速達とすること)

持参の場合、受付時間は9時から17時までとする。土・日・祝日は行わない。

上記期間中に手続きを完了しない場合、入学を辞退したものと取り扱う。

### (2) 提出書類

ア. 誓約書(本研究科所定のもの。合格通知書と同封して郵送する。)

イ. 住民票(外国人留学生については、市町村長が発行する在留資格及び在留期間を明記したもの。出願者以外の世帯員については証明不要)

ウ. 外国人で入学許可が出国の要件となっている国外在住者については、外務省在外公館又は日本国政府の承認した外国政府その他の発行する留学資格証明書・紹介状・推薦書等

エ. その他必要書類等は、合格通知とともに通知する。

### (3) 納入金(一部変更になる場合がある。)

入学料 県内の者 282,000円

県外の者 520,000円

授業料 前期分 267,900円(年額535,800円)

※ 入学手続きでは入学料のみ納入。

※ 入学料について「県内の者」とは、(ア)入学しようとする者の生計の主たる維持者が入学しようとする年の前年の3月1日から入学許可の日まで引き続き福岡県内に居住している者、(イ)入学しようとする者の生計の主たる維持者が勤務等の事由により県外居住者であっても、入学者を含む家族の大半が(ア)に居住している者をいう。

なお、上記の県内居住については、住民票が期間中県内にあるかどうかにより判断する。

「県外の者」とは、上記以外の者をいう。

※ 在学中に授業料の額の改定が行われた場合には、改定後の授業料の額が適用される。

※ 本学では、平成28年熊本地震により被災した福岡女子大学志願者の入学金及び入学考査料について免除の特例措置を実施する。

詳しくは下記URLを確認すること。

([http://www.fwu.ac.jp/exam\\_info/h30/](http://www.fwu.ac.jp/exam_info/h30/))

### (4) 入学手続き場所

福岡女子大学 学務部 教務企画班 〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1丁目1番1号

TEL 092-661-2417 内線 2212

### (5) その他不明な点は、下記まで問い合わせること。

福岡女子大学 学務部 教務企画班 〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1丁目1番1号

TEL 092-661-2417 内線 2212

◎外国人留学生への支援制度（平成 29 年度実績）

外国人留学生として本学大学院に入学した者（県外の者に限る。）には、その入学時の成績等により、入学金が半額となる制度及び、入学後の研究計画書の内容と面接により、授業料が半額となる制度があります。また、本学に設置されて学生寮に入寮することもできます。（ただし、入寮できる人数には限りがあります。）

※試験結果の開示

試験結果を本人に限り、本学学務部教務企画班において開示します。期間は、平成 30 年 4 月 9 日（月）から 4 月 20 日（金）まで。

ただし、9 時から 17 時までで（正午から 13 時までには昼休みです）、土、日、祝日は開示を行いません。

開示を申請する際には、本大学院入試の受験票を持参してください。

平成 30 年度人間環境科学研究科【博士前期課程】入試スケジュール

2 月試験	
出願期間	平成 30 年 1 月 15 日（月）～1 月 19 日（金）17 時まで
試験日	平成 30 年 2 月 17 日（土）
合格発表	平成 30 年 2 月 22 日（木）
入学手続期間	平成 30 年 3 月 9 日（金）～3 月 15 日（木）17 時まで

春季試験	
出願期間	平成 30 年 1 月 15 日（月）～1 月 19 日（金）17 時まで
試験日	平成 30 年 3 月 3 日（土）
合格発表	平成 30 年 3 月 8 日（木）
入学手続期間	平成 30 年 3 月 9 日（金）～3 月 15 日（木）17 時まで

平成30年度 入学試験用

福岡女子大学大学院人間環境科学研究科入学願書【博士前期課程】

Application for Admission to the Graduate School of Health and Environmental Sciences  
(Master's Program)

志望専攻名 Desired major	人間環境科学専攻 Master's Program for Health and Environmental Sciences		
選抜の区分 Category of selection (いずれかを○で囲むこと。) Circle the Category	<input type="checkbox"/> 一般選抜 General Admission <input type="checkbox"/> 社会人選抜 Admission for Working Applicants <input type="checkbox"/> 外国人留学生選抜 Foreign Students Admission		
試験日 Test Date (いずれかを○で囲むこと。) Circle one	<input type="checkbox"/> 2月試験 February Test (2018年2月17日(土)) <input type="checkbox"/> 春季試験 Spring Test (2018年3月3日(土))		
フリガナ 氏名 Name		受験番号	※記入しないこと。Office use only.
生年月日 Date of birth	昭和・平成 年(西暦) 年 月 日(満 歳)		
現住所 Present address	〒 電話(Phone) ( ) —		
保証人 Guaranter (続柄) (Relationship)	氏名(Name) ( )	住所(Address) 〒 電話(Phone) ( ) —	
年 月 Year・Month	履歴事項(高等学校卒業から記入すること。職歴を含む。外国人留学生については小学校から記入。) Curriculum Vitae (Starting with Elementary School)		
.			写真貼付欄 Photo 写真はたて4cm、 よこ3cmの大きさ 正面上半身無帽で 出願前3ヶ月以内 に撮影したもの 3cm×4cm in size and taeken wihin 3 months.
.			
.			
.			
.			
.			
.			
.			
.			
.			
合格通知の受信場所 Address for notification of the application results	〒		

平成30年度 入学試験用

福岡女子大学大学院人間環境科学研究科入試受験票【博士前期課程】

Admission Slip for Examination

(Master's Program)

志望専攻名 Desired major	人間環境科学専攻 Master's Program for Health and Environmental Sciences	
選抜の区分 Category of selection (いずれかを○で囲むこと。) Circle the Category	一般選抜 General Admission 社会人選抜 Admission for Working Applicants 外国人留学生選抜 Foreign Students Admission	
試験日 Test Date (いずれかを○で囲むこと。) Circle one	2月試験 February Test (2018年2月17日(土))	春季試験 Spring Test (2018年3月3日(土))
フリガナ		写真貼付欄 Photo
氏名 Name		写真はたて4cm、 よこ3cmの大きさ 正面上半身無帽で 出願前3ヶ月以内 に撮影したもの 3cm×4cm in size and taken within 3 months.
受験番号 Examinee No.	※記入しないこと。 Office use only.	

# 研究希望調書

## Statement of Prospective Graduate Student Research Agenda

福岡女子大学大学院人間環境科学研究科

人間環境科学専攻博士前期課程

氏名 Name		受験番号 Examinee No.	※1
志望領域 Desired Field		志望研究室 Desired Area of Research(lab.)	※2
※3 受験希望専門科目 Special Subject	第1希望科目	第2希望科目	
志望の動機（これまでに行って来た研究棟の内容についても記載して下さい。） Motivation(Describe Your Previous Academic Projects.)			
研究希望課題 Planned research topic			
希望する研究の内容 Prospective Research Agenda			

○※1の[受験番号]の欄は記入しないこと。 Leave Blank.

○※2の「志望研究室」欄は、本募集要項の13ページの「\*専門科目の選択」一覧の研究室から一つ選択して記入すること。

○※3の「受験希望専門科目」において、受験する選抜区分が「一般選抜」の受験者は、「第1希望科目」欄には、志望研究室に対応する科目を、「第2希望科目」欄には選択する2つ目の科目を記入すること。また、「社会人選抜」または「外国人留学生選抜」の受験者は、「第1希望科目」の欄に志望研究室に対応する科目を記入すること。

# 受験許可書

福岡女子大学長 殿

受験者氏名 \_\_\_\_\_

生年月日 \_\_\_\_\_

上記の者が、平成30年度福岡女子大学大学院人間環境科学研究科学研究科博士前期課程の入学試験を受験することを許可します。

西暦 年 月 日  
(平成 年)

所属機関等住所及び電話番号

〒 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

所属機関等名

\_\_\_\_\_

所属長名

\_\_\_\_\_ 印

# 在職期間証明書

Certificate of Professional Career/Employment

現住所 〒 \_\_\_\_\_  
Present Address

受験者氏名 \_\_\_\_\_  
Name of Applicant

Month \_\_\_\_\_ 月 Date \_\_\_\_\_ 日 / Year \_\_\_\_\_ 年

所属機関名(事業所名) Name of Institution/Company	
職 種 Position of Applicant	
在職期間 又は 在職した期間 Period in employment	自 _____ 月 _____ 日 _____ 年 Since Month _____ Date _____ /Year _____ ~ 至 _____ 月 _____ 日 _____ 年 Until Month _____ Date _____ /Year _____

住所(所在地) 〒 \_\_\_\_\_  
Address of Institution/Company

勤務先名 \_\_\_\_\_  
Name of Institution/Company or Employer

職 名 \_\_\_\_\_  
Position

氏 名 \_\_\_\_\_  
Name(Signature) ④



# 入学者選拔出願資格認定申請書

## Application Form for Applicant's Eligibility

福岡女子大学長 殿

平成30年度福岡女子大学大学院 人間環境科学研究科博士前期課程に出願したいので、  
事前審査をお願いします。

Month \_\_\_\_\_ 月 Date \_\_\_\_\_ 日 / Year \_\_\_\_\_ 年  
(平成 \_\_\_\_\_ 年)

氏名  
Name

印

住所  
Address

〒

最終修了機関名  
Last Academic Background

修了(卒業)年月日  
Date of Completion

Month \_\_\_\_\_ 月 Date \_\_\_\_\_ 日 / Year \_\_\_\_\_ 年

# 入学査料振込金受付証明書貼付用紙

福岡女子大学大学院人間環境科学研究科  
人間環境科学専攻博士前期課程

入学査料振込金受付  
証明書貼付欄

＜入学考査料振込依頼書＞

切り取り

A票

振込依頼書

(「福岡女子大学(大学院)」入学考査料)

平成	年	月	日	科 目	電 信 扱	手 数 料	円
				福岡銀行 香椎支店	金 額	30000	円
振込先	預金種目	口座番号					
受取人	普通	2732681					
		福岡女子大学					
		(おなまえ)					
		(フリガナ)					
		氏名 (フリガナ)					
		(おところ)					
		(電話)					
		依頼人 (志願者)					

出 納 印

※【取扱金融機関へお願い】

1. 収納印はA・B・C票の3ヶ所にもれなく押印してください。
2. B・C票は、必ず依頼人へお返しください。
3. 振込手数料は、志願者に負担していただくこととなります。

(取扱金融機関保管)

切り取り

B票

振込金受取書

(「福岡女子大学(大学院)」入学考査料)

平成	年	月	日	金 額	円
				30000	円
振込先	福岡銀行 香椎支店				
受取人	福岡女子大学				
		(フリガナ)			
		志願者 氏 名			
		手 数 料			

出 納 印

(志願者保管)

C票

「福岡女子大学(大学院)」入学考査料  
振込金受付証明書

平成	年	月	日	金 額	円
				30000	円
振込先	福岡銀行 香椎支店				
受取人	福岡女子大学				
		(フリガナ)			
		志願者 氏 名			

出 納 印

(入学考査料振込金受付証明書貼付用)

(振込後C票は切り離しの上、指定された貼付欄に貼りつけてください)